



小寺康子
古布と一閑張り展

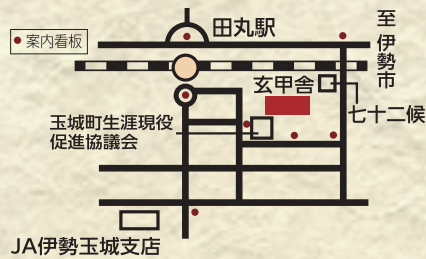
2024.11.20水 ▶ 25月

玄甲舎

玉城町佐田151の22 9時~16時(入館は15時30分まで)
火曜休館 入館料200円

小寺康子プロフィール

1961年生まれ。鳥羽市在住。
友人が所有していた古文書の一閑張りバックに魅了され、玉城町在住の一閑張り作家、辻幸子先生に師事。
趣味でアンティーク品を収集しているうちに古布と出会い、現在は古布を使った一閑張りバックを主に作成している。



いっ かん ば
一閑張りとは...

竹かごなどに和紙を張り重ね、柿渋で仕上げる伝統工芸です。
柿渋を塗ることによって防水、防腐、耐久性に優れ、バックやインテリアなどにも用いられています。
柿渋は日光に当たることで渋く濃い茶色に発色します。変化する過程も楽しめます。



毎月第4金曜は抹茶体験の日 11月は22日が開催日です。作品鑑賞と共に、一服いかがですか。
お一人500円(別途入館料が必要です) 10時/13時30分 各回定員5名 申し込みは下記まで。

主催・問い合わせ先 ▶ 玉城町生涯現役促進協議会 Tel.0596-58-8050 後援 ▶ 玉城町教育委員会